

平成20年12月期連結業績の概要

平成20年1月～12月

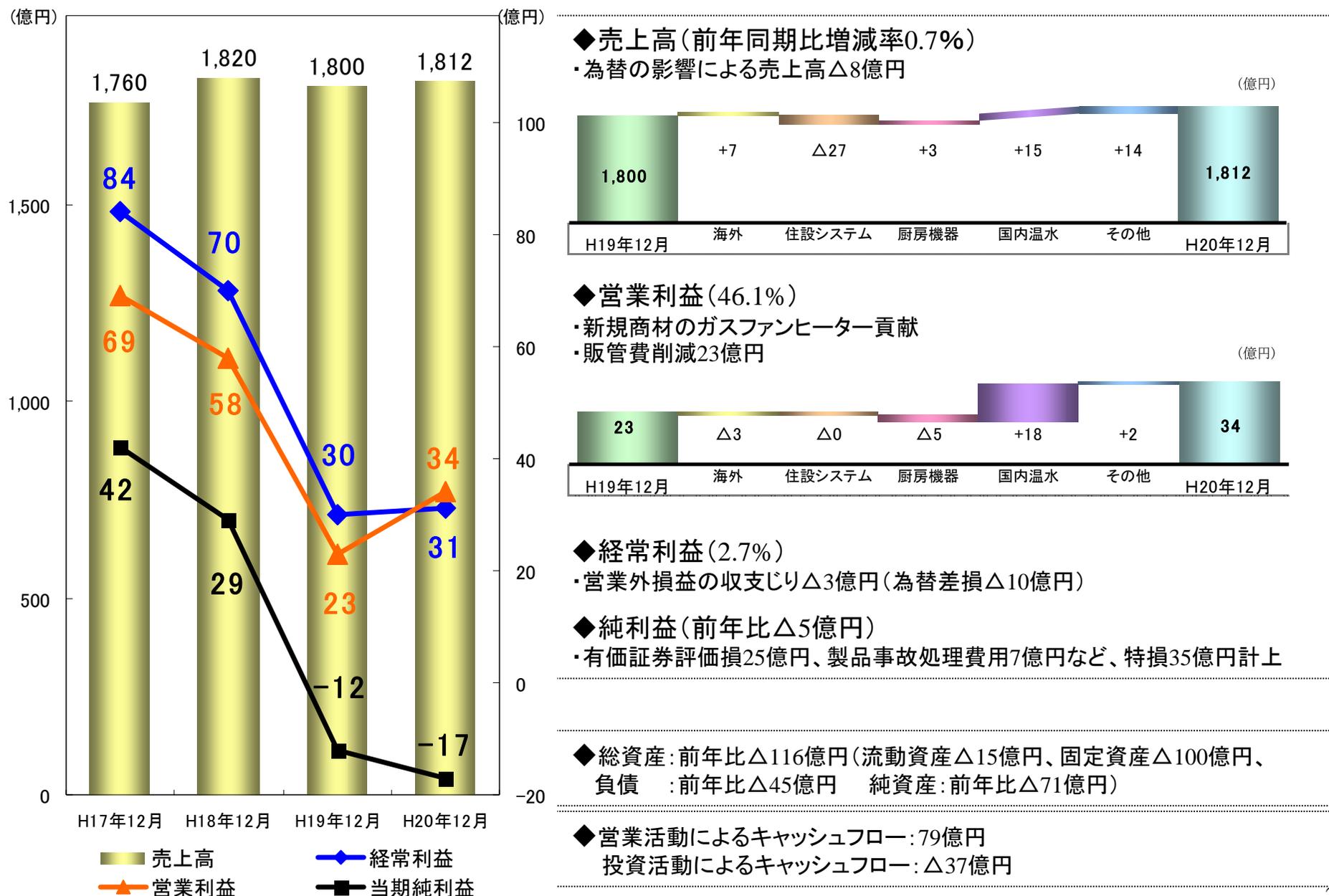
- ・連結経営成績のポイント
- ・セグメント情報
- ・海外事業
- ・連結各社個別業績
- ・経営構造改革の進捗と株主還元

株式会社ノーリツ

代表取締役社長 神崎茂治

本資料に記載されております当社の将来の業績に関わる見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。

平成20年12月期 連結経営成績のポイント



平成20年12月期 連結経営成績

(単位:百万円)

連結	H19(07年)		H20(08年)				
	6月中間期実績	通期実績	6月中間期実績		修正通期計画	通期実績	
				対前年増減率(%)			対前年増減率(%)
売上高	88,878	180,017	86,375	△2.8	183,000	181,254	0.7
営業利益	1,371	2,358	530	△61.3	3,500	3,445	46.1
経常利益	1,971	3,019	1,006	△49.0	4,200	3,102	2.7
当期純利益	360	△1,208	176	△51.0	2,000	△1,796	—

為替差損10億円

《参考》為替レート
07/12末:114.16円
08/12末:91.04円

単体	H19(07年)		H20(08年)				
	6月中間期実績	通期実績	6月中間期実績		修正通期計画	通期実績	
				対前年増減率(%)			対前年増減率(%)
売上高	67,942	134,929	64,006	△5.8	134,000	133,385	△1.1
営業利益	654	508	96	△85.3	1,500	1,269	149.4
経常利益	1,350	1,282	953	△29.4	2,200	1,461	14.0
当期純利益	326	△1,244	△201	—	400	△2,909	—

特別損失 35億円

有価証券評価損25億円
製品事故処理費7億円

平成20年12月期 営業利益増減要因(1)

(単位:百万円)

	第3四半期累計				第4四半期(10~12月)				通期	
	H19(07年)		H20(08年)		H19(07年)		H20(08年)		H20(08年)	
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)
売上高	130,221	100.0	129,343	100.0	49,796	100.0	51,911	100.0	181,254	100.0
売上原価	92,044	70.7	92,343	71.4	35,204	70.7	37,422	72.1	129,765	71.6
売上総利益	38,177	29.3	37,000	28.6	14,591	29.3	14,488	27.9	51,488	28.4
販管費	37,026	28.4	36,169	28.0	13,384	26.9	11,873	22.9	48,042	26.5
営業利益	1,150	0.9	830	0.6	1,208	2.4	2,615	5.0	3,445	1.9

売上総利益の悪化を販管費削減でカバー

第4四半期は、ほぼ計画通りの営業利益を計上

売上高が計画を下回ったこと、銅以外の素材高などにより製造原価が悪化

平成20年12月期 営業利益増減要因(2)

(単位:億円)

	第3四半期累計		通期	
	実績		実績	
	プラス	マイナス	プラス	マイナス
販売価格改善	14.0		8.9	
商品ミックスや台数減少		△ 29.6		△ 25.3
為替影響		△ 2.3		△ 1.7
コストダウン	8.8		10.9	
素材価格		△ 0.1		△ 1.3
製造費用増減 (償却費増加分含む)		△ 2.6		△ 4.3
販管費増減	8.6		23.6	
合計	31.4	△ 34.6	43.4	△ 32.6
営業利益増減額		△ 3.2		10.8

第4四半期に販売単価の悪化

- ・仕入れ+3.1億円
- ・売り上げ△4.8億円

- ・銅価格:0.9億円
- ・銅以外:△2.2億円

- ・人件費1.6億円
- ・広告宣伝費3.7億円
- ・技術研究費2.9億円
- ・物流費2.9億円

平成20年12月期 セグメント情報

(単位:億円)

	H17(05年)	H18(06年)	H19(07年)	H20(08年)				
				修正計画		実績		
				売上高	営業利益	売上高	対前年 増減率(%)	営業利益
国内温水空調機器	1,144	1,153	1,104	1,109	36	1,119	1.4	42
海外温水機器	64	95	138	165	△ 0	146	5.8	△ 6
住設システム機器	310	282	229	209	△ 12	201	△ 12.2	△ 12
厨房機器	183	215	247	261	4	250	1.2	1
その他事業	58	73	80	86	7	95	18.8	9
合計	1,760	1,820	1,800	1,830	35	1,812	0.7	34

◇国内温水空調機器

需要の落ち込みが予想よりも小さく、販売価格の改善、新規商材のガスファンヒーターなどもあり、売上高・営業利益は回復した。

◇住設システム機器

原価低減を進めたものの、販売台数の減少と普及品へのシフトにより売上高は減少。

◇厨房機器

ガス事業者向けの高付加価値品の伸び悩みと、キッチンメーカー向け数量減で、採算性悪化

◇その他事業

エレクトロニクス関連部品などの販売が堅調に推移した

平成20年12月期 主要品群(国内)の販売実績

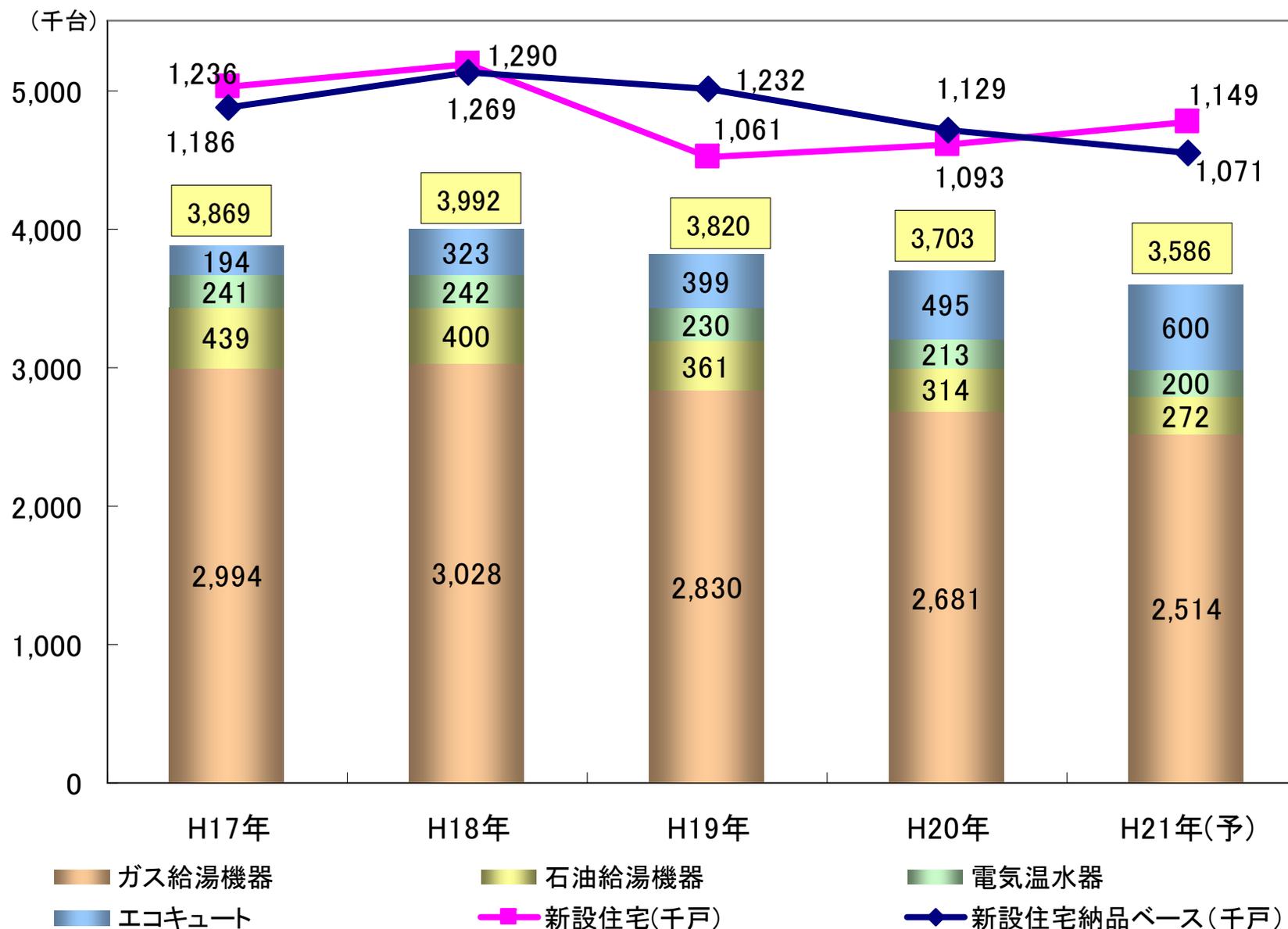
《参考資料》

(単位:千台)

		H18(06年)				H19(07年)				H20(08年)				
		需要	前年比	台数	シェア	需要	前年比	台数	シェア	需要	前年比	台数	前年比	シェア
温水機器	ガス風呂釜	1,737	100.7%	675	38.9%	1,625	93.6%	651	40.1%	1,550	95.4%	626	96.2%	40.4%
	ガス給湯器	1,291	101.7%	424	32.8%	1,205	93.3%	422	35.0%	1,131	93.9%	385	91.2%	34.0%
	石油給湯器	400	91.1%	137	34.3%	361	90.3%	125	34.6%	314	87.0%	121	96.8%	38.5%
	小計	3,428	99.9%	1,236	36.1%	3,191	93.1%	1,198	37.5%	2,995	93.9%	1,132	94.5%	37.8%
SB(戸建)		794	102.6%	43	5.4%	748	94.2%	32	4.3%	717	95.9%	29	90.6%	4.0%
SK(戸建)		618	103.2%	19	3.1%	612	99.0%	15	2.5%	614	100.3%	12	80.0%	2.0%
洗面		1,839	97.7%	117	6.4%	1,794	97.6%	102	5.7%	1,665	92.8%	94	92.2%	5.6%
厨房機器		1,195	103.2%	356	29.8%	1,170	97.9%	404	34.5%	1,093	93.4%	380	94.1%	34.8%

※需要は全て当社推定

平成20年12月期 新設住宅着工戸数と温水機器の需要 《参考資料》



平成20年12月期 海外事業

(台数:千台、売上高・営業利益:億円)

	H18(06年)		H19(07年)		H20(08年)				
	通期実績		通期実績		修正計画		通期実績		
	台数	売上高	台数	売上高	台数	売上高	台数	売上高	営業利益
北米	46	45	62	64 (54百万US\$)	68	63	59	55 (54百万US\$)	
アジア	185	41	272	69	394	92	285	77	
その他	33	10	39	12	53	15	52	17	
合計	265	97	373	145	515	170	396	149	△ 6

- ・売上高** 世界的な景気悪化、円高の影響を受け3%増にとどまった。
 北米は、前年比13%減となったもののドルベースは横ばいを維持した。売上高の4割を占める西海岸がサブプライム問題の影響を大きく受けた一方、他の4拠点全てが前年を上回る売上高を確保したが、第4四半期の落ち込みが激しく販売台数も前年比5%減となった。
 アジアは前年比13%伸び、給湯器以外の厨房機器やレンジフードなども増加。
 その他は、ブラジル、欧州、韓国向けなどが計画どおり伸長した。
- ・営業利益** 円高や、アジア・北米事業の計画割れにより、営業利益は6億円の赤字となった。

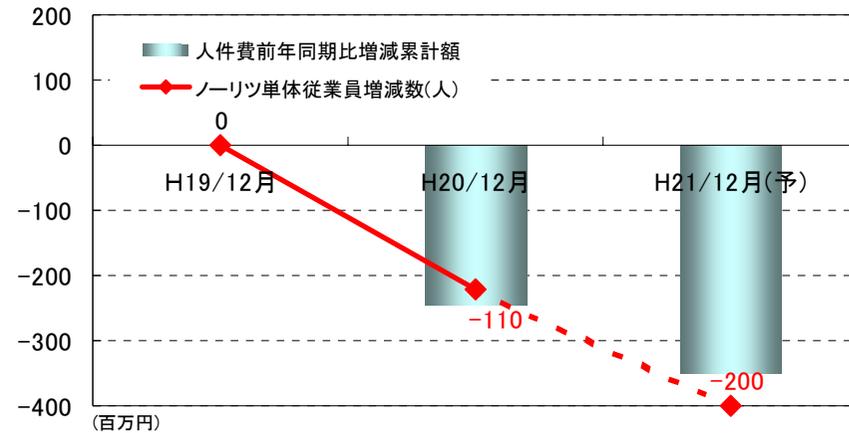
経営構造改革の進捗と株主還元

◇固定費20億円の削減(H19年対比H22年)の進捗について

- ・H19年比16億円削減
- ・人員は H19年12月比110名減少
- ・今後も、グループ会社含めた拠点統合・再編により、コスト削減を計画

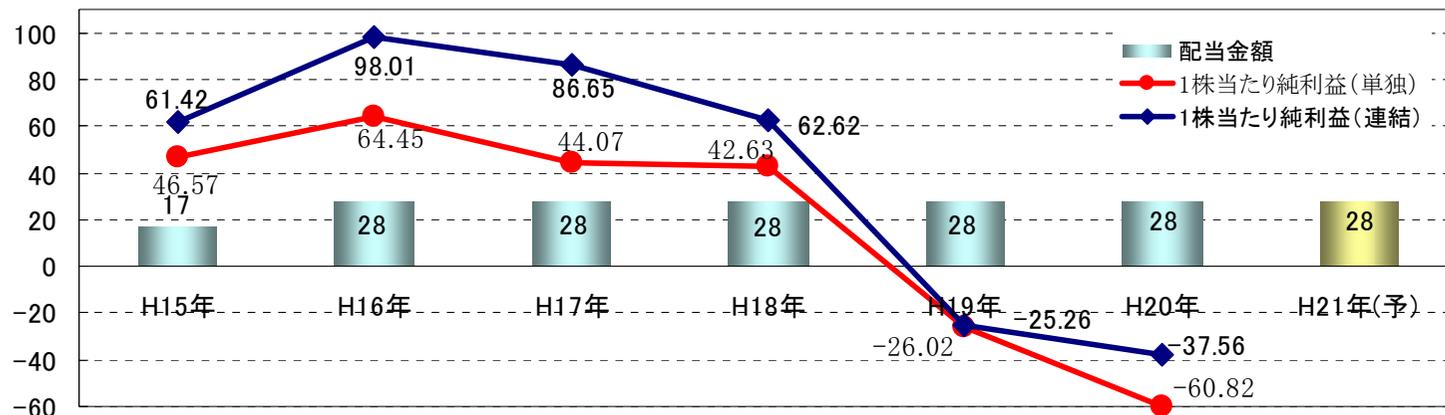
◇每期10億円の原材料費の低減の進捗

- ・当期9億円を実施



◇株主還元

- ・継続的かつ安定的な配当政策の実施
- ・連結ベースでの配当性向35%を目標設定



平成20年12月期 連結各社個別業績

(単位:百万円)

会社名		売上高	経常利益	当期利益
1 ノーリツ	H20(08年)	133,385	1,461	△ 2,909
	H19(07年)	134,929	1,282	△ 1,244
2 大成工業	H20(08年)	12,952	503	289
	H19(07年)	13,430	409	233
3 信和工業	H20(08年)	4,551	△ 9	△ 13
	H19(07年)	4,645	43	26
4 関東産業	H20(08年)	2,949	△ 42	△ 42
	H19(07年)	3,234	△ 56	△ 64
5 アールビー	H20(08年)	8,402	295	291
	H19(07年)	9,153	96	84
6 ハーマン	H20(08年)	30,792	339	172
	H19(07年)	31,565	516	266
7 ハーマンプロ	H20(08年)	26,989	310	113
	H19(07年)	27,486	705	158
8 多田スミス	H20(08年)	4,558	147	78
	H19(07年)	4,110	109	50
9 周防金属工業	H20(08年)	1,626	39	22
	H19(07年)	1,828	70	40
10 ノーリツエレクトロニクス テクノロジー	H20(08年)	17,647	217	94
	H19(07年)	17,566	442	277
11 ノーリツ住設	H20(08年)	5,425	65	36
	H19(07年)	5,549	49	27
12 エヌティーエス	H20(08年)	14,271	160	80
	H19(07年)	13,896	14	△ 4

会社名		売上高	経常利益	当期利益
13 エスコア	H20(08年)	2,378	193	111
	H19(07年)	2,451	197	114
14 ノーリツキャピタル	H20(08年)	207	54	35
	H19(07年)	197	3	1
15 エヌアールケイ	H20(08年)	2,774	△ 3	△ 3
	H19(07年)	3,178	△ 14	△ 14
16 ユービック	H20(08年)	4,478	514	297
	H19(07年)	3,466	490	283
17 ノーリツアメリカ	H20(08年)	5,529	△ 359	△ 363
	H19(07年)	6,357	△ 217	△ 217
18 上海能率有限公司	H20(08年)	4,855	143	113
	H19(07年)	8,462	429	421
19 能率(中国)投資有限公司	H20(08年)	6,349	△ 337	△ 337
	H19(07年)	951	△ 447	△ 447
20 能率(上海)住宅設備有限公司	H20(08年)	1,535	△ 202	△ 202
	H19(07年)	0	△ 634	△ 634
21 能率香港集团公司	H20(08年)	948	△ 6	△ 6
	H19(07年)	1,176	△ 4	△ 4
22 能率香港有限公司	H20(08年)	1,355	5	1
	H19(07年)	1,000	17	14
23 能率電子科技(香港)有限公司	H20(08年)	3,684	92	83
	H19(07年)	3,776	118	107

平成20年12月期 海外事業 活動報告(1)

- ・北米 商品政策: エナジースターパートナーに認定
 - ・家庭用ガス給湯器(*)がエナジースター対象となる。
米国ノーリツ製品は4シリーズが全て適合。(当社のみ)
業界に先駆けエナジースターパートナーの認定を受けた。
*熱量20万BTU以下の製品が対象
 - ・コンデンシングタイプ、強制給排気タイプの新製品により、
新規開拓が進行した(→09年に貢献)

拠点政策: ニューヨーク支店開設(8/4)

北米5拠点体制確立。ショールーム活用のビジネスモデルが
確実に浸透し、営業上大きな武器となっている。
施工・アフターサービス向け
研修にも活用。



‘09AHR EXPOでエナジースター認定品を展示



ニューヨーク支店・SR



ショールームでの研修会



↑トレーラーを活用したエリアでの展示会

平成20年12月期 海外事業 活動報告(2)

・アジア(中国)

中国では省エネ基準(1~3級)に合格しなければ販売できないが、現状全機種2級に適合済。1級適合品も09年発売予定

商品政策: 上海能率がCE認証取得。

上海製ガス給湯器のグローバル展開が可能となり
欧州への輸出本格化にはずみ。

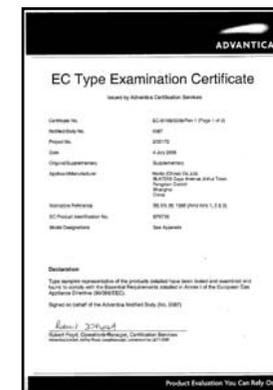
生産政策: 新工場に2本目の完成ライン稼動開始。

09年の生産拠点集約、主要部品内製化の準備
が進行。

・アジア(香港)

香港は給湯器や高額コンロの販売が好調。

販売政策: 大型物件の採用成功と、香港ガスでのシェアアップ



中国/CE認証



中国/専売店



香港の納入物件

平成20年12月期 海外事業 活動報告(3)

・ブラジル

輸出本格化、NRブランド品の輸出に加え、OEM品輸出も好調で売上台数、売上高ともに前年の2倍以上。

・豪州

売上台数、売上高ともに前年を下回ったが回復傾向に。省エネ・環境の先進地域であり、業界最高水準6.9スターを取得した。業務用給湯器の拡大に加え、ソーラー向け商品の発売。

・ロシア

NRブランドでの輸出開始。現地代理店を通じて、業務用の販売拡大。09年以降の、民生用、暖房ボイラー参入にはずみ

・欧州

イタリアむけ輸出を開始し、輸出国は5カ国に拡大。各国の市場に合わせ、業務用・民生用、また日本製・上海製の組み合わせで販売。環境配慮型商品投入。

・韓国

OEM供給で売上高は前年の2.5倍に増加した。



ブラジルの量販店で販売順調



豪州/業界最高水準達成



ロシアでの設置事例



韓国キョンドン社向けガス給湯器(5号)

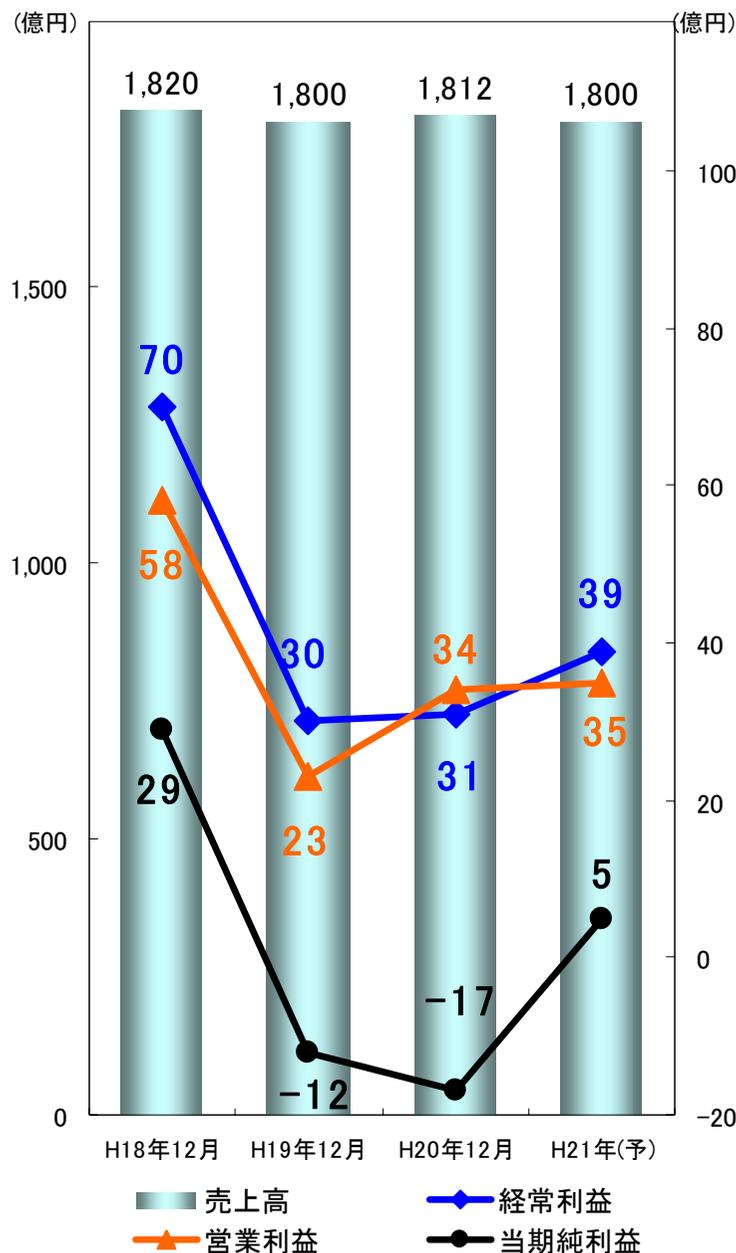
平成21年12月期連結業績予想の概要

平成21年1月～12月

- ・連結経営成績の予想
- ・セグメント情報
- ・国内事業の再構築
- ・経営構造改革の進捗と株主還元
- ・設備投資、減価償却費、研究開発費

本資料に記載されております当社の将来の業績に関わる見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。

平成21年12月期 連結経営成績予想



◆ **売上高(前年同期比増減率△0.7%) 1,800億円**
 国内温水機器は需要減などから減収見込み。厨房機器はグループの販売効率アップで増収見込み

H20年12月	海外	住設システム	厨房機器	国内温水	その他	H21年12月
1,812	+4	+4	+10	△14	△15	1,800

◆ **営業利益(1.6%増) 35億円**
 海外、住設システム機器は、生産拠点統合で収益好転。国内温水は販売価格下落で減益見込み。

H20年12月	海外	住設システム	厨房機器	国内温水	その他	H21年12月
34	+3	+4	+2	△4	△4	35

◆ **経常利益(27.7%増) 39億円**
 ◆ **当期純利益 5億円**

◆ **設備投資 68億円**
 ◆ **減価償却費 67億円**
 ◆ **研究開発費 57億円**

平成21年12月期 連結経営成績予想

(単位:百万円)

	H20(08年)				H21(09年)計画			
	第2四半期 累計	対前年 増減率(%)	通期	対前年 増減率(%)	第2四半期 累計	対前年 増減率(%)	通期	対前年 増減率(%)
売上高	86,375	△2.8	181,254	0.7	86,000	△0.4	180,000	△0.7
営業利益	530	△61.3	3,445	46.1	600	13.2	3,500	1.6
経常利益	1,006	△49.0	3,102	2.7	800	△20.5	3,900	25.7
当期純利益	176	△51.0	△1,796	—	△1,000	—	500	—

◇売上高

第2四半期、通期ともに需要の落ち込み、販売価格下落に加え、消費マインド低下が見込まれるなか、売上高の維持に努める

◇営業利益

売上高減を経営コスト削減でまかない、第2四半期、通期ともに増益を図る

◇経常利益

為替差損を見込んでおらず、営業外収支は改善の見込み

◇当期純利益

株式市場の動向により有価証券評価損の発生を予測

平成21年12月期 営業利益の増減要因

(単位:億円)

	H20(08年)		H21(09年)	
	実績		計画	
	プラス	マイナス	プラス	マイナス
販売価格	8.9			△ 8
商品ミックスや台数減少		△ 25.3		△ 9
為替影響		△ 1.7		0
コストダウン	10.9		7	
素材価格		△ 1.3	3	
製造費用増減 (償却費増加分含む)		△ 4.3	2	
販管費増減	23.6		5.5	
合計	43.4	△ 32.6	17.5	△ 17
営業利益増減額	10.8		0.5	

原材料下落を背景にした値下げ
圧力による販売単価悪化を想定

販売台数減少、普及価格帯
商品へのシフトなど

その他素材+1億円
銅価格+2億円

悪化要因:退職給付費用増加
好転要因:国内営業拠点統合
中国ショールーム統合
物流費削減

平成21年12月期 セグメント情報

(単位:億円)

	H18(06)年	H19(07)年	H20(08)年		H21年(2009) 計画				
	売上高	売上高	売上高	対前年 増減率(%)	営業利益	売上高	対前年 増減率(%)	営業利益	対前年 増減率(%)
国内温水空調機器	1,153	1,104	1,119	1.4	42	1,105	△ 1.3	38	△ 9.5
海外温水機器	95	138	146	5.8	△ 6	150	2.7	△ 3	-
住設システム機器	282	229	201	△ 12.2	△ 12	205	2	△ 8	-
厨房機器	215	247	250	1.2	1	260	4	3	200.0
その他事業	73	80	95	18.8	9	80	△ 15.8	5	△ 44.4
合計	1,820	1,800	1,812	0.7	34	1,800	△ 0.7	35	2.9

◇国内温水空調機器

前年比7%減の需要の落ち込みに加え、販売価格の下落により収益は悪化する見込み。取替え強化で歯止めをかける。

◇住設システム機器

新製品の投入。リフォームにシフト。普及価格帯＋機能商品の提案により収益の改善を図る

◇厨房機器

グループ全体での販売強化を図り、ガス事業者向けの売上拡大により、増益を図る

◇その他事業

エレクトロニクス関連部品販売が減少見込み

国内事業の需要予測と販売計画

《参考資料》

(単位:千台)

		H19(07年)				H20(08年)				H21(09年)				
		需要	前年比	台数	シェア	需要	前年比	台数	シェア	需要予測	前年比	販売計画	前年比	シェア
温水機器	ガス風呂釜	1,625	94%	651	40.1%	1,550	95.4%	626	40.4%	1,445	93.2%	607	97.0%	42.0%
	ガス給湯器	1,205	93%	422	35.0%	1,131	93.9%	385	34.0%	1,069	94.5%	385	100.0%	36.0%
	石油給湯器	361	90%	125	34.6%	314	87.0%	121	38.5%	272	86.6%	106	87.6%	39.0%
	小計	3,191	93%	1,198	37.5%	2,995	93.9%	1,132	37.8%	2,786	93.0%	1,098	97.0%	39.4%
SB(戸建)		748	94%	32	4.3%	717	95.9%	29	4.0%	712	99.3%	30	103.4%	4.2%
SK(戸建)		612	99%	15	2.5%	614	100.3%	12	2.0%	600	97.7%	13	108.3%	2.2%
洗面		1,794	98%	102	5.7%	1,665	92.8%	94	5.6%	1,620	97.3%	102	108.5%	6.3%
厨房機器		1,170	98%	421	36.0%	1,093	93.4%	380	34.8%	1,038	95.0%	372	97.9%	35.8%

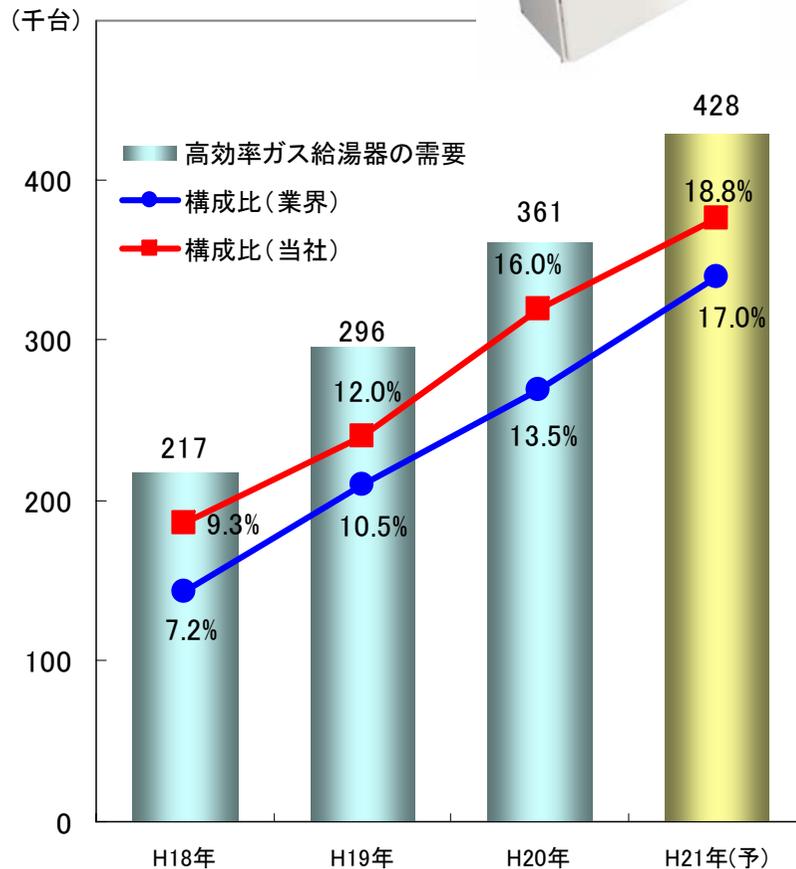
※需要は全て当社推定

国内事業の再構築 温水空調機器事業の収益改善と環境対応

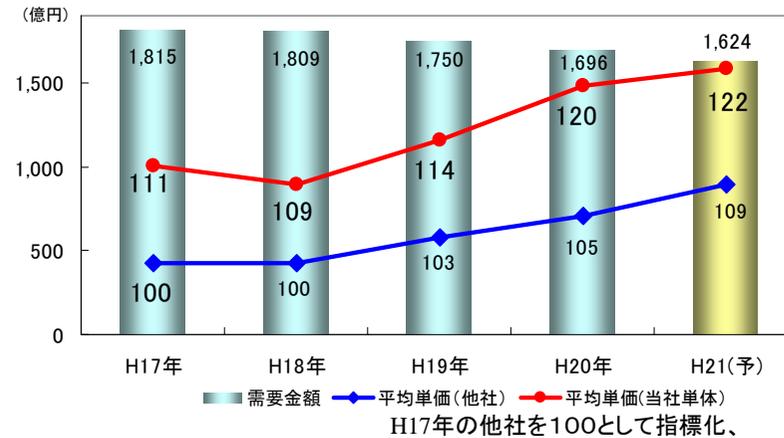
※需要は全て当社推定

◇高効率ガス給湯器の販売構成

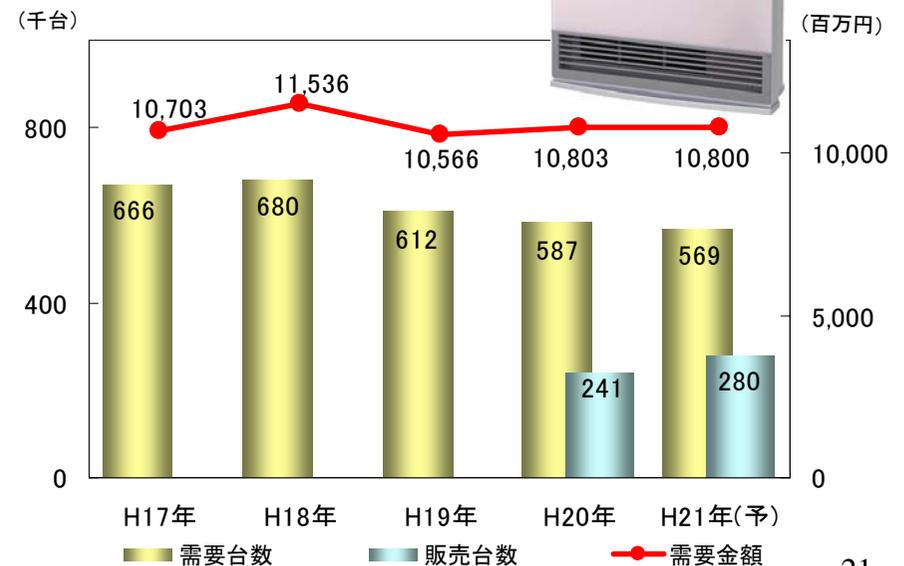
継続して台数、比率共に増加見込み



◇ガス石油給湯機器の需要金額と平均単価の推移



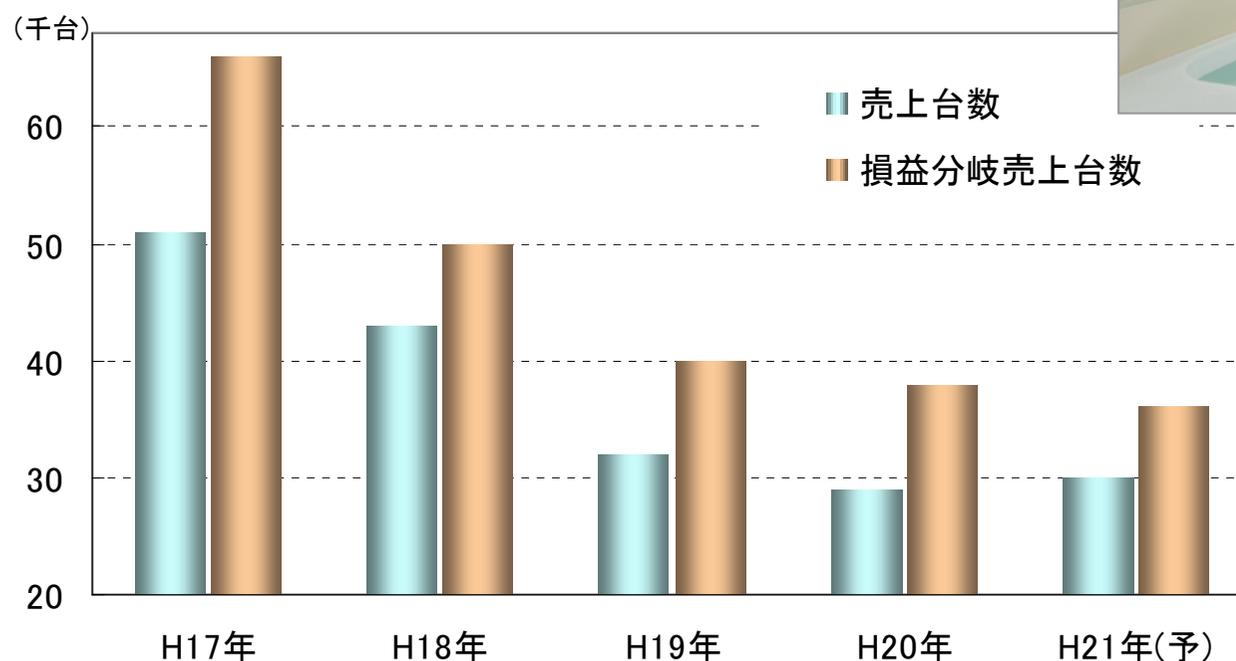
◇ガスファンヒーターの販売



国内事業の再構築 住設システム機器事業の黒字化へ向けて

◇システムバス再構築の進捗について

- ・H21年内を目処に生産拠点をつくば工場に統合。
固定費削減の本格効果はH22年以降に
- ・売上計画は損益分岐売上台数を割り込む見込みだが、普及価格帯の新製品投入で台数減少傾向に歯止めをかけ、採算性を改善する



平成21年12月期 海外事業

(台数:千台、売上高・営業利益:億円)

	H18(06年)		H19(07年)		H20(08年)			H21(09年)		
								計画		
	台数	売上高	台数	売上高	台数	売上高	営業利益	台数	売上高	営業利益
北米	46	45	62	64	59	55		59	55	
アジア	185	41	272	69	285	77		295	81	
その他	33	10	39	12	52	17		53	17	
合計	265	97	373	145	396	149	△ 6	407	153	△ 3

- ・売上高 世界的な景気悪化、円高の継続により厳しい環境は続くとみられる。
アジアは底堅い需要が見込まれ、回復が期待できる。
- ・営業利益 円高による影響は続くが、製造原価、販管費の低減により、採算性は向上。

平成21年12月期 設備投資・減価償却・研究開発

(単位:億円)

設備投資 ・ 減価償却費	H20(08年)		H21(09年)				H22(10年)		第3次中計合計	
	実績		当初計画		修正計画		当初計画		見込み	
	設備投資	減価償却	設備投資	減価償却	設備投資	減価償却	設備投資	減価償却	設備投資	減価償却
国内	52	61	51	60	64	62	49	49	165	172
海外	8	5	9	6	4	5	6	6	18	16
合計	60	66	60	66	68	67	55	55	183	188
内金型投資	18	—	20	—	22	—	17	—	57	—

研究開発費	H20(08年)		H21(09年)				H22(10年)		第3次中計合計	
	実績		当初計画		修正計画		当初計画		見込み	
合計	56		60		57		60		173	